

令和2年/2020

No.36
野口遵顕彰会

野口 遵

顕彰会だより



ごあいさつ

野口遵顕彰会

会長 吉玉典生

初冬の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は野口遵顕彰会に対しましてご高配・ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染の勢いは少しも衰えず、私たちの日常生活や経済活動に多大な悪影響を及ぼしています。野口遵顕彰会活動におきましてもコロナ禍の影響を受け、これまで続けてきました『ジュニア科学者の翼』の中止、「野口遵翁生誕祭」の縮小、「キャリア教育“地元企業に学ぶ”」の見送りなどに及んでいます。そのような中で、『野口賞』授与事業では16年ぶりに3回目の『野口賞』（賞金100万円）、そして、初めて「産業振興奨励賞」（賞金50万円）とのダブル受賞となりました。

また、九州保健福祉大学との初めての連携事業であるジュニア科学スクール「アルコール代謝と遺伝子検査」に関する準備が整い実施の運びとなりました。

それぞれの事業の具体的な実施状況は別紙のとおりです。

野口遵顕彰会は、来年2月には設立20周年を迎えます。これからも活動の一層の充実に努めてまいります。これまでご支援をいただきました皆様方に心からお礼を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和2年12月

副読本マンガ版の配付事業

《「のべおか新興の母 野口 遵」》



野口遵翁の科学者として、また、世界的な事業家としての業績や延岡市発展の功績を小学生の皆さんに知ってもらうために、分かりやすく親しみやすいようにマンガ風に再編集した副読本「のべおか新興の母 野口遵」（B5版）を、延岡市内の小学校25校の4年生全員に配付しました。（計1,245冊）

これは、延岡市教育委員会が小学校3・4年生に配付している副読本「わたしたちの郷土延岡市」の中に、“延岡にかかわる偉人”のひとりとして野口遵翁が取り上げられています。小学生の皆さんが学習する際に、野口遵翁をより理解するのに役立ててもらえればとの思いで配付しているものです。

各小学校では朝の読書の時間や総合学習の時間などに活用しています。なお、今回で6回目の配付となりましたが、来年も続けて4年生全員に配付します。

青少年科学技術派遣研修事業

《第20回『ジュニア科学者の翼』》

“青少年に科学への夢と希望を育む事業”として毎年夏休みに実施し、これまでに221名の中学生の皆さんを関東地区にあります科学館や野口研究所に派遣して研修しました。

今年度は、新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるい日本もその影響をうけ、いまだに収束の見込みが立たない状況にあります。そのため派遣する中学生の感染防止を最優先に判断し、今回は残念ですが実施を見送りました。

新型コロナウイルス感染の早期収束を祈り、次年度は実施できることを願っています。



第6回「野口遵翁生誕祭」

《 — 延岡市と共催して開催 — 》

延岡市の文化の拠点として市民に親しまれてきた野口記念館の命名の由来となった旭化成の創業者野口遵翁の功績を讃えて、生誕の日である7月26日に延岡市と野口遵顕彰会が共催して開催しています。

今年も、新野口遵記念館が建設工事中のため旭化成向陽倶楽部にて開催しました。今回は、世界中で猛威をふるっている新型コロナウイルス感染防止の観点からこれまでの内容を縮小して、関係者を中心に実施しました。

「生誕祭」当日はあいにくの雨でしたが30名の皆さんが出席し、「野口遵翁への祝いの献花」、主催者あいさつ、来賓あいさつの後、昭和10年11月に延岡市を行幸された昭和天皇が旭化成ペンベルグ工場を視察された記録映像（DVD）を皆さんに見てもらいました。終わりに、出席者全員が野口遵翁の遺影に献花しその功績を偲び感謝しました。



第20回『野口賞』授与事業



宮崎県内を拠点として独自の事業拡大、研究開発、技術開発を行い、顕著な業績を上げた企業や個人などを募集・選考して賞状と賞金を授与していますが、今回は4件の応募がありました。「選考委員会」にて慎重かつ厳正な審査の結果、『野口賞』（賞金100万円）と「産業振興奨励賞」（賞金50万円）が決定しました。今回の『野口賞』は、第2回、第4回に続いて3回目で16年ぶりの授賞となりました。

「授賞式」を11月19日（木）エンシティホテル延岡にて執り行い表彰状と賞金を授与し、そして受賞者に受賞されたテーマについて「講演」をしていただきました。受賞者の皆さまと受賞テーマは下記のとおりです。

なお、この「授賞式」は一般社団法人「宮崎県工業会」県北地区部会の例会を兼ねて共催で実施しました。



<『野口賞』（賞金100万円）>

◇受賞者

宮崎県工業技術センター 材料開発部 副部長 山本建次 様
 ” ” 専門主幹 清水正高 様
 宮崎県商工観光労働部 企業振興課
 技術支援担当 主査 濱山真吾 様

◇研究開発の名称

『水溶性物質を油に疑似溶解したナノ粒子分散体の沸騰脱水製造法発見と商品化』

◇授賞理由

- ①ナノ粒子分散体の沸騰脱水製造法は、ナノ粒子を油の中で効率的に製造する世界初の技術であり高く評価。
- ②この技術は多方面で注目されており、すでに化粧品製造に実用化されていて、今後さらに医薬品業界などでも活用されることが期待されているなど、技術性の高さを評価。
- ③収益面においても化粧品として実用化されていて令和元年度の売上高が数億円に上り、今後さらに伸びることが大いに期待できる。



<「産業振興奨励賞」(賞金50万円)>

◇受賞者

株式会社 清水製作所宮崎 代表取締役社長 森木 信一 様

◇研究開発の名称

『2.5次元シミュレーション技術を活用した、耐圧・薄肉製品製作用リングプロジェクション溶接の高度化技術開発』

◇授賞理由

- ①既往のリングプロジェクション溶接技術、シミュレーション解析技術を発展させて、リングプロジェクション溶接とそれに特化したシミュレーションを、また、新たに電極技術を開発するなど、高度化技術を確立した点を高く評価。
- ②リングプロジェクション溶接の技術は他にも類似のものがあるようだが、特徴としての2.5次元シミュレーション技術で形状条件を最適化できる点、すでに自動車やスーパーコンピューター内の冷却水配管の実用化にもつながっている点などを評価。



『ジュニア科学スクール』

≪ ペットボトルを使って風力発電機をつくる!! ≫

小学校5・6年生を対象に、実験や組立てなどを通して科学技術への関心を高め楽しみながら学習する機会として、『ペットボトルを使って風力発電機をつくる』をテーマに各小学校を訪問して実施しています。

ペットボトルを使って風車をつくり発電キットを組立て、それらを組み合わせて風力発電機が完成します。扇風機の風を当てるとこの発電機の風車が回ってLEDランプ(赤)が点灯することで発電を確認します。そして、この仕組みや電気についても学習しています。

<実施した学校>

(第47回) 令和2年2月18日(火) 港小学校 6年生 7名

(第48回) 令和2年2月28日(金) 方財小学校6年生 8名

“『ジュニア科学者の翼』派遣研修生の集い” および 『ジュニア科学者の翼派遣研修生OB会』結成準備

青少年科学技術派遣研修事業『ジュニア科学者の翼』が今年度20回を終了するのを機会に、第16回～第20回の派遣研修生と引率の先生に案内して、研修の成果がその後の進路や考え方にどう生かされているのかを確認する。また、それぞれの回に参加したメンバーが久しぶりに顔を合わせ、楽しい思い出やお互いの友情を深める機会を提供します。

また、これまでの『ジュニア科学者の翼』派遣研修生は233名になります。参加者の中から『OB会』結成の意見もあり、派遣研修生の皆さんの意向を確認するとともにその後の動向調査の一環とします。

<事業費 24万円>



設立20周年『記念誌』の配付

創立20周年「記念誌」ができ上がりましたので関係先へ配付します。配付先は、賛助会員（企業、個人）、各教育委員会、各小・中学校長、『ジュニア科学者の翼』派遣研修生、野口遵顕彰会役員など合わせて650冊を配付します。

<事業費 20万円>



ホームページのお知らせ

事業の実施状況や「のべおか新興の母 野口遵」縮刷版、マンガ版の内容も掲載しています。どうぞアクセスしてみてください。

＜ホームページアドレス＞

<http://ability-gate.heteml.jp/noguti-h-a/>



ご意見・ご提案について(お願い)



野口遵顕彰会活動や取組み事業に対する忌憚のないご意見・ご提案をお聞かせください。事業計画や活動に生かしていきたいと思っております。下記事務局までお電話、あるいはFAXにてお気軽にお寄せください。よろしく願いいたします。

「賛助会員」募集について(お願い)

野口顕彰会では「賛助会員」を常時募集しています。当顕彰会の趣旨・目的にご賛同下さる皆様のご入会とご紹介をよろしくお願いいたします。

賛助会費は、

(法人) 1口 1万円/年間 ; (個人) 1口 1,000円/年間

※1口以上何口でも結構です。

ご入会を希望される方がいらっしゃいましたら、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

●連絡先

野口 遵 顕彰会 事務局

〒882-0824

宮崎県延岡市中央通り3-5-1 (延岡商工会議所内)

TEL (0982) 33-6666

FAX (0982) 33-6682

